

JA志賀

第97号
夏号



営農課職員による社会科学習（上熊野小学校にて）

新規採用職員紹介

- ① 星座・血液型
- ② すきな言葉
- ③ すきな偉人・有名人
- ④ 抱負



麦元 学
経済課

- ① 牡羊座・O型
- ② 一日一善
- ③ 松井 秀喜
- ④ JA志賀の職員として仲間入りできうれしく思います。日々、感謝の気持ちを忘れず何事に対しても一生懸命頑張ります。みなさん、どうぞよろしくお願い致します。



大前 貴弘
富来農機センター

- ① 山羊座・B型
- ② 一喜一憂
- ③ 劉備 玄德
- ④ 組合員との繋がりを大切にしていく。



坂井 俊二
中甘田支店

- ① 水瓶座・O型
- ② 実るほど頭を垂れる
稲穂かな
- ③ 杉原 千畝
- ④ JA職員として、組合員の方だけではなく地域の皆さまから信頼される職員を目指し、自分自身を磨いていきます。



大石 由希恵
総務課

- ① 獅子座・B型
- ② 今を大切にする！！
- ③ 小椋 久美子さん(バドミントン元日本代表選手)
- ④ 皆様から信頼される職員になれるよう笑顔で頑張ります。



川上 英隆
志賀給油所

- ① 牡牛座・O型
- ② 初志貫徹
- ③ 大久保 利通
- ④ 組合員・地域の方々に貢献出来る様がんばりたいと思います。



末川 絵理
下甘田支店

- ① 双子座・O型
- ② 継続は力なり
- ③ 宮崎 駿さん
- ④ 最初、どのように組合員さんとコミュニケーションを取ったらいいか悩みましたが、組合員の方から声を掛けていただき、支えていただいた5ヶ月間でした。これからは、私が組合員さんや地域を支えられるよう頑張っていきたいです。



仕入 裕樹
富来給油所

- ① 双子座・B型
- ② 不撓不屈
- ③ 本田 宗一郎
- ④ 何事にも誠実に取り組みたいです。
よろしくをお願いします。



牧田 杏花
富来支店

- ① 射手座・O型
- ② 有言実行
- ③ 福沢 諭吉
- ④ みなさまに親しまれるJA職員になりたいです。



端谷 祐貴
富来給油所

- ① 山羊座・A型
- ② 行雲流水
- ③ ジョン・レノン
- ④ 一生懸命頑張ります。富来給油所でお待ちしています。



和泉 奈々
富来支店

- ① 蠍座・O型
- ② 楽しまずして何の人生ぞや。
- ③ ジャンヌ・ダルク
- ④ 慣れないことばかりで不安もたくさんありますが、1日でも早く仕事を覚えて、てきぱきと仕事をこなせるように頑張ります！！

第50回志賀農業協同組合通常総代会

第50回

通常総代会開催



農業と地域に根ざし、
地域社会と共存する
JAをめざして

J A 志賀の第50回通常総代会は、6月24日(水)午前10時より志賀町文化ホールで開かれました。総代数520名のうち、478名(本人出席265名、議決権行使213名)の出席により会議が成立し、稲村組合長の挨拶に続き、来賓の小泉志賀町長が祝辞を述べた後、議長には田淵秀之総代(富来地区)を選任し議案の審議に入りました。

慎重なる審議の結果、平成26年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件のほか、上程された全議案が原案通り可決・承認されました。

また、議案審議終了後には、「J Aグループ自己改革の実現」及び「TPP交渉における国会決議の遵守」に関する特別決議(案)の提案がなされ、出席総代の力強い拍手をもって採択されました。

第50回 通常総代会提出議案

【審議事項】

- 第1号議案 平成26年度事業報告及び剰余金処分案の承認の件
 - 第2号議案 平成27年度事業計画の策定の件
 - 第3号議案 信用事業規程の一部変更の件
 - 第4号議案 リスク管理積立金規程の一部変更の件
 - 第5号議案 役員の報酬に関する件
- 附帯決議

【報告事項】

- ①平成26年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書並びに全国中央会及び監事の監査報告について
- ②株式会社JAアグリサポートしかの平成26年度事業報告及び平成27年度事業方針について
- ③「JAバンク基本方針」の変更について



平成26年度 事業報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

当JAでは、役員不在の事態、不祥事件の発覚と、組合員はじめ利用者へ多大なるご迷惑とご心配をお掛けしたことを改めてお詫び申し上げます。再発防止計画に沿って信頼回復に努めながら、地域農業は元より地域社会に貢献できる組織として、第3次中期3カ年計画の2年目として取り組んで参りました。

結果、事業利益82百万円、経常利益1億14百万円、税引前当期利益1億1百万円という結果を残すことができました。

信用事業

「利用者満足度向上を図り、地域のみなさまから選ばれるJAバンク」の実現に向け、信託の確保や、身近で便利なメインバンク機能向上を目指し、「年金・住宅ローン相談会の開催」、「マイカー・教育等各種ローンの低金利提供」、「キャッシュバックサービスの普

及」、「独自の高金利対応退職金定期貯金募集」を具体的実践事項として取り組みました。

共済事業

組合員・利用者および地域住民へ「安心」と「満足」を提供し、「地域に密着したJAらしい事業展開」を図り、組合員・利用者の満足度向上に向けた事業機能の強化に取り組みました。

購買事業

消費税引上げにより個人消費の落ち込み等厳しい状況下、生産資材等の大口農家への直送や水稻肥料の年内取りなどに取り組み、農家のコスト低減を図りました。

各種展示会・キャンペーン等の実施により組合員・利用者のニーズに応えるよう取り組みました。

営農指導・販売事業

経営所得安定対策等積極的な加入支援を行うとともに、地域担い手の連携により、農地の保全と地域振興に努めました。

基幹作物の米については、うまい・きれいな石川米づくり運動、環境と調和した米づくり等、安全・安心、良質米の生産に取り組みました。

平成26年産米の作況指数は能登地区98（25年産：100）となる中、7万3千28・5俵（加工米、備蓄米含む）の集荷実績で米受託販売高は、6億81百万円（計画対比90・9%）でありました。

米以外の販売品の合計取扱高は、西瓜の価格低迷もあり、1億83百万円（計画対比83・4%）でありました。

利用事業

育苗センターでは、健苗生産に取り組み中、直播・疎植栽培の普及や圃場整備の実施により、利用実績は、16万6千987箱で前年に比べ5千950箱減の結果となりました。

共同乾燥施設では、円滑な施設運営、継続しての大口利用者割引やスタンドバックフレコン購入助成の実施による、利用率向上運動に取り組みとともに、良質米の安定生産に努めてまいりました。

共同乾燥施設全体の利用量（玄米量）は、1千958t（3万2千636俵）となりました。

平成26年度の主な事業実績

（単位：千円）

項目	計画額	実績額	対比
貯金（平均残高）	47,081,000	46,753,117	99.3%
貸出金（平均残高）	10,097,700	10,118,490	100.2%
長期共済新契約高	10,576,200	10,976,340	103.8%
年金共済新契約高	59,000	68,510	116.1%
購買事業取扱高	2,670,250	2,480,892	92.9%
販売事業取扱高	1,314,580	1,364,331	103.8%

平成26年度 貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 信用事業資産	48,383,112,985
(1) 現 金	180,233,976
(2) 預 金	33,145,263,804
系統預金	33,113,501,565
系統外預金	31,762,239
(3) 有価証券	5,342,499,500
国 債	2,128,881,000
地方債	2,070,128,500
社 債	1,143,490,000
(4) 貸出金	9,728,235,225
(5) その他の信用事業資産	49,559,874
未収収益	43,882,932
その他の資産	5,676,942
(6) 貸倒引当金	▲ 62,679,394
2. 共済事業資産	11,611,657
(1) 共済貸付金	10,158,108
(2) 共済未収利息	140,800
(3) その他の共済事業資産	1,312,749
3. 経済事業資産	510,255,995
(1) 受取手形	1,686,312
(2) 経済事業未収金	373,281,432
(3) 経済受託債権	13,424,000
(4) 棚卸資産	113,121,241
購買品	68,051,801
繰越諸材料	41,843,194
その他の棚卸資産	3,226,246
(5) その他の経済事業資産	28,958,843
(6) 貸倒引当金	▲ 20,215,833
4. 雑資産	40,284,184
5. 固定資産	846,820,480
(1) 有形固定資産	846,316,122
建 物	2,392,232,981
機械装置	439,763,098
土 地	145,372,305
その他の有形固定資産	416,683,981
減価償却累計額	▲ 2,547,736,243
(2) 無形固定資産	504,358
その他の無形固定資産	504,358
6. 外部出資	1,649,632,335
(1) 外部出資	1,649,632,335
系統出資	1,502,106,335
系統外出資	97,626,000
子会社等出資	49,900,000
資産の部合計	51,441,717,636

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 信用事業負債	46,258,184,657
(1) 貯 金	46,203,857,738
(2) 借入金	3,020,000
(3) その他の信用事業負債	51,306,919
未払費用	16,641,875
その他の負債	34,665,044
2. 共済事業負債	347,877,687
(1) 共済借入金	10,158,108
(2) 共済資金	226,951,239
(3) 共済未払利息	140,800
(4) 未経過共済付加収入	108,418,484
(5) 共済未払費用	986,126
(6) その他の共済事業負債	1,222,930
3. 経済事業負債	189,090,480
(1) 経済事業未払金	151,277,254
(2) 経済受託債務	32,342,315
(3) その他の経済事業負債	5,470,911
4. 雑負債	177,544,421
(1) 未払法人税等	7,395,500
(2) 資産除去債務	22,730,538
(3) その他の負債	147,418,383
5. 諸引当金	234,909,504
(1) 賞与引当金	13,876,890
(2) 退職給付引当金	214,982,181
(3) 役員退職慰労引当金	5,805,823
(4) ポイント引当金	244,610
6. 繰延税金負債	14,957,011
負債の部合計	47,222,563,760
(純資産の部)	
1. 組合員資本	3,951,155,832
(1) 出資金	959,078,000
(2) 利益剰余金	2,993,523,832
利益準備金	972,949,698
その他利益剰余金	2,020,574,134
リスク管理積立金	527,154,859
農業経営基盤積立金	145,000,000
施設整備積立金	324,000,000
税効果積立金	87,515,009
特別積立金	465,913,815
当期末処分剰余金	470,990,451
(うち当期剰余金)	(80,456,265)
(3) 処分未済持分	▲ 1,446,000
2. 評価・換算差額等	267,998,044
(1) その他有価証券評価差額金	267,998,044
純資産の部合計	4,219,153,876
負債及び純資産の部合計	51,441,717,636

単体自己資本比率 25.98%

組合員数

資格区分	期 首	当期増加	当期減少	期 末	増 減
正 組 合 員	4,068	51	107	4,012	▲ 56
准 組 合 員	1,823	69	27	1,865	42
計	5,891	120	134	5,877	▲ 14

出資口数

(単位:口)

資格区分	期 首	期 末	増 減
正 組 合 員	879,227	868,965	▲ 10,262
准 組 合 員	85,854	88,667	2,813
処分未済持分	2,021	1,446	▲ 575
計	967,102	959,078	▲ 8,024

出資1口金額 1,000円
払込済出資総額 959,078,000円

平成26年度 損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額
1. 事業総利益	1,051,983,531
(1) 信用事業収益	450,444,297
資金運用収益	425,841,228
(うち預金利息)	(146,747,183)
(うち有価証券利息)	(77,137,780)
(うち貸出金利息)	(152,610,004)
(うちその他受入利息)	(49,346,261)
役務取引等収益	11,598,723
その他経常収益	13,004,346
(2) 信用事業費用	61,826,431
資金調達費用	25,527,541
(うち貯金利息)	(23,924,340)
(うち給付補填備金繰入)	(1,258,325)
(うちその他支払利息)	(344,876)
役務取引等費用	4,617,269
その他経常費用	31,681,621
(うち貸倒引当金繰入額)	(1,855,081)
信用事業総利益	388,617,866
(3) 共済事業収益	349,680,104
共済付加収入	339,908,551
共済貸付金利息	249,321
その他の収益	9,522,232
(4) 共済事業費用	25,225,355
共済借入金利息	249,321
共済推進費	7,653,999
その他の費用	17,322,035
共済事業総利益	324,454,749
(5) 購買事業収益	2,562,034,605
購買品供給高	2,480,892,946
修理サービス料	44,530,748
その他の収益	36,610,911
(6) 購買事業費用	2,352,081,457
購買品供給原価	2,136,165,848
購買供給費	28,333,252
その他の費用	187,582,357
(うち貸倒引当金繰入額)	(2,600,941)
購買事業総利益	209,953,148
(7) 販売事業収益	65,139,100
販売品販売高	282,331
販売手数料	55,700,450
その他の収益	9,156,319
(8) 販売事業費用	20,422,426
販売品販売原価	250,830
販売費	3,035,609
その他の費用	17,135,987
(うち貸倒引当金繰入額)	(▲ 222,422)
販売事業総利益	44,716,674
(9) 農業倉庫事業収益	18,274,450
(10) 農業倉庫事業費用	16,065,928
農業倉庫事業総利益	2,208,522

科 目	金 額
(1) 加工事業収益	1,802,270
(2) 加工事業費用	2,461,711
加工事業総利益	▲ 659,441
(13) 利用事業収益	202,219,807
(14) 利用事業費用	129,888,838
(うち貸倒引当金繰入額)	(486,091)
利用事業総利益	72,330,969
(15) 葬祭事業収益	57,545,874
(16) 葬祭事業費用	49,734,832
葬祭事業総利益	7,811,042
(17) 福祉事業収益	51,418,728
(18) 福祉事業費用	41,425,503
福祉事業総利益	9,993,225
(19) その他事業収益	5,888,429
(20) その他事業費用	2,431,508
その他事業総利益	3,456,921
(21) 指導事業収入	1,624,427
(22) 指導事業支出	12,524,571
指導事業収支差額	▲ 10,900,144
2. 事業管理費	969,839,747
(1) 人件費	730,762,481
(2) 業務費	89,746,096
(3) 諸税負担金	25,480,092
(4) 施設費	120,282,451
(5) その他事業管理費	3,568,627
事業利益	82,143,784
3. 事業外収益	31,868,356
(1) 受取雑利息	266,402
(2) 受取出資配当金	28,972,200
(3) 賃貸料	1,042,708
(4) 雑収入	1,587,046
4. 事業外費用	206,000
(1) 寄付金	206,000
経常利益	113,806,140
5. 特別利益	10,969,744
(1) 一般補助金	8,590,000
(2) その他の特別利益	2,379,744
6. 特別損失	23,833,699
(1) 固定資産処分損	5,293,252
(2) 固定資産圧縮損	8,590,000
(3) 減損損失	1,571,484
(4) その他の特別損失	8,378,963
税引前当期利益	100,942,185
法人税、住民税及び事業税	13,311,621
法人税等調整額	7,174,299
法人税等合計	20,485,920
当期剰余金	80,456,265
当期首繰越剰余金	383,359,887
税効果積立金取崩額	7,174,299
当期未処分剰余金	470,990,451

剰余金処分

(単位：円)

科 目	金 額
1. 当期末処分剰余金	470,990,451
2. 剰余金処分類	99,209,889
(1) 利益準備金	20,000,000
(2) 任意積立金	67,900,000
リスク管理積立金	32,900,000
特別積立金	35,000,000
(3) 出資配当金	11,309,889
3. 次期繰越剰余金	371,780,562

1. 出資配当は年1.2%の割合である。
2. 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額 10,000,000円が含まれている。

平成27年度 事業計画

基本方針

◆経営基本方針◆

第3次中期3カ年計画の最終年として引き続き、組合員・利用者の皆様のニーズに 대응するべく、行政等関係機関との連携のもと、次の事項を基本目標として、経営の安定性や成長性を確保し、地域に貢献できるJAを目指します。

◆基本目標◆

- ① 活力ある農業の実現
- ② 次代へつなぐ強固な組織基盤づくり
- ③ 協同活動を支えるJA経営の確立

◆重点実施事項◆

- ① 地域農業戦略を策定する。
- ② 担い手の育成と支援強化を図る。
- ③ 組合員加入促進と女性参画への更なる取り組みを図る。
- ④ 地域貢献活動の展開と組合員・地域住民との結びつきを強化する。
- ⑤ 総合力発揮による事業基盤の確保に努める。
- ⑥ 経営管理体制を強化し、コンプ

ライアンスやリスク管理の向上に努める。

- ⑦ 遊休資産の処分計画を策定する。
- ⑧ 不祥事再発防止への取り組みを強化する。

主要事業目標

(単位:千円)

項目	計画額
貯金(平均残高)	46,688,000
貸出金(平均残高)	9,870,000
長期共済新契約高	8,723,120
年金共済新契約高	44,600
購買事業取扱高	2,590,000
販売事業取扱高	1,419,000

損益計画

(単位:千円)

項目	計画額
事業総利益	1,045,000
事業管理費	982,800
事業利益	62,200
経常利益	93,300
税引前当期利益	83,300
当期剰余金	61,300

施設整備計画

(単位:千円)

施設名	資産種類	内容	事業費
カントリーエレベーター	機械装置	湿式集塵装置、紙袋はい積装置他改修工事	6,260
増穂ライスセンター	機械装置	主操作盤・荷受操作盤、湿式集塵装置他改修工事	36,680
積載車	車両運搬具	大型農機(3t以上)運搬用車両	12,250

(※不稼働資産については、順次処分する。)

永年勤続表彰

県連通常総会において、勤続30年表彰、当組合通常総代会において勤続20年表彰が行われました。他の模範となった者として職員より5名が表彰を受けました。

【永年勤続優良職員表彰】

- 勤続30年
- 坂本 長一 (複合涉外課 課長)
 - 川端 吉太郎 (営農課 課長)
- 勤続20年
- 野沢 貞則 (志賀農機センター)
 - 畑山 秀紀 (志賀農機センター)
 - 脇田 優子 (志加浦支店 次長)

編集後記

広報の良し悪しは、表紙の印象でほぼ決まる。これまで表紙を飾ってくれた子供さんたちに感謝、どれだけあなたたちの笑顔に助けられたことか。もちろん受けて下さった保護者の方にも感謝です。ありがとうございました。

広報70〜97号を担当しましたが、次回より後任のものが担当します。私とは違った視点で皆さまに情報を発信していきますので、今後ともよろしく願っています。